

## 海外紹介 世界の鍼灸コミュニケーション(19)

# 韓国韓医学会の現状と鍼灸分野における近代韓日交流史 - 鍼灸学を中心に -

曹 基湖<sup>1)</sup> 徐 廷徹<sup>2)</sup> 李 源哲<sup>3)</sup> 金 甲成<sup>4)</sup>

1) 慶熙大学韓医学部内科学教室 大韓韓医学会国際交流理事

2) 慶山大学韓医学部鍼灸学教室

3) 東国大学韓医学部内科学教室 大韓韓医学会会長

4) 東国大学韓医学部鍼灸学教室 大韓鍼灸学会会長

## The Status Quo of Korean Acupuncture and Moxibustion: With Reference to the Modern History of its Exchange between Korea and Japan

CHO Ki-ho<sup>1)</sup>, SEO Jung-chul<sup>2)</sup>, LEE Won-chul<sup>3)</sup>, KIM Gap-sung<sup>4)</sup>

1) Department of Circulatory and Neurologic Diseases (Stroke Center), College of Oriental Medicine, Kyung Hee University. Chair, International Exchange Committee of Korean Oriental Medical Society

2) Department of Acupuncture and Moxibustion, College of Oriental Medicine, Kyung San University

3) Department of Circulatory Internal Medicine, College of Oriental Medicine, Dong Kuk University. President of Korean Oriental Medical Society

4) Department of Acupuncture and Moxibustion, College of Oriental Medicine, Dong Kuk University. President of Korean Acupuncture & Moxibustion Society

### 要 旨

韓国の伝統医学は「韓医学」と呼ばれており、特に韓国では韓医学の中でも漢方薬より鍼灸術に大いに期待しているのが現状である。韓国の医療体系は西洋医学と東洋医学の二本立て体制で、鍼灸士だけを養成する鍼灸(専門)大学はなく、韓医師と大学の韓医学部で漢方薬と鍼灸術に対して独占的な地位を占めている。韓医学では西洋医学と同様に6年間の大学教育と4年間の研修医制度をとり、世界唯一の鍼灸専門医制度を持っている。学会は大韓韓医学会が代表的な存在として最高上級機関であり、その傘下に鍼灸関連学会の大韓鍼灸学会、大韓薬鍼学会、大韓経絡経穴学会がある。最近、韓国と日本の間での鍼灸学術交流は国際東洋医学会の国際東洋医学学術大会、世界鍼灸学会連合の世界鍼灸学術大会などを通じて盛んに行われている。

### はじめに

韓国の伝統医学は古代中国医学にその源を発している。近代に入って日本の影響を受け、「漢医学」または「東洋医学」と呼ばれてきたが、1986年法律が改正され、「韓医学」に正式に決められた。「韓医学」は韓国の歴史、文化、慣習、伝統などに影響を受け、特に東洋医学の中で鍼灸学は隣国である日本、中国とは相当異なる制度と伝統を持ちながら発展してきた。それに、韓国人の東

洋医学に対する認識は「一鍼二灸三薬」という言葉があるほど鍼灸術を第一の治療方法として依存する傾向が非常に高いと言える。

韓国の医療制度はいずれも教育課程が6年間である西洋医学と東洋医学という二本立て体制で、この二つの医療制度は互いの排他性を尊重しながら、共存するシステムを長い間保ってきた。そのため、一般に医師(medical doctor)といっても漢薬と鍼灸術を使って患者を診ることはできず、韓

医師も洋薬を使うことができないのである。

また、他国と異なって韓国では鍼灸師 (acupuncturist, 韓国では鍼灸士と呼ぶ。本稿では日本の鍼灸師と韓国の鍼灸士と分ける) 制度が40年前になくなり、その代わりに韓医師 (Oriental Korean Medical Doctor : OMD) がその役割を果たしている。また、大学教育の鍼灸師課程も、他国は3年あるいは4年の課程が終わると鍼灸師国家試験を受けることができるが、韓国では6年間という世界で最も長い教育課程を取っている。そして、鍼灸を行うためには6年間の大学教育を受ける必要がある。さらに、鍼灸専門医 (Specialist in Acupuncture and Moxibustion) になるには卒業後4年間という研修医課程を受けなければならない。このことは日本ではほとんど知られていない。韓国の韓医師は漢方専門医師資格とともに鍼灸の資格を持ち、鍼灸術と漢薬を併用する東洋医学の総合的なシステムを発展させてきた。

そこで、本稿では韓国の鍼灸学の現状と今までの韓日鍼灸学の歴史的交流に関して紹介する。

### 1. 鍼灸師制度の歴史的変遷と鍼灸専門医誕生

古代中国医学にその源を発する韓国の鍼灸学は20世紀に入って日本の支配下で日本医療制度の直接的な影響を受けた。1914年10月29日、朝鮮総督府警務總監令第10号に按摩術、鍼術、灸術経営業取締規則が制定された。これらの類似医療業者の免許取得要件は単に「普通学校 (現：小学校) 1年を終了した者 (1923年10月26日以後は普通学校を3年終了に変更)」であった。按摩術、鍼術、灸術を一人が全部施してもかまわないが、免許は

分野別に分けて発行された。

終戦後、1946年4月には米軍政庁は保健厚生部訓令を出し、按摩術、鍼術、灸術の営業取得規則の効力を停止させた。そして、1951年国民医療法第59条に鍼士、灸士、按摩士および接骨士に関する制度が制定された。この際、初めて韓医師制度が新設され、医師 (medical doctor) とともに医療制度の二本立てが始まった。保健社会部 (略称：保社部、日本の厚生省に当たる) は1960年11月28日に、保社部令第56号に類似医療業者令を設定した。これとともに、鍼士、灸士、按摩士、および接骨士の資格試験も規定した。しかし、1962年7月には軍事革命の国家再建最高会議で国民医療法第59条を削除し、医療法附則経過規定 (鍼士、灸士、按摩士および接骨士の既得権者に対する管理規定) を設定することによって鍼灸士制度は廃止されるようになり、その後新規の鍼灸士の資格を取ったものはない。従って、韓国では鍼灸に対する臨床、研究は韓医師が担うことになり、今日に至っている。

2001年には韓医学も西洋医学のように細分化して進むべきであるという政府の方針から韓方専門医制度が作られ、今年初めて韓方専門医試験が行われ、326名が合格した。韓方専門医制度が設置された分野は韓方鍼灸科、韓方内科、韓方婦人科、韓方耳鼻咽喉科、韓方リハビリテーション、四象体質医学科、韓方小児科、韓方神経精神科の8科である。

1962年に鍼灸士制度が廃止されるまで、鍼灸士免許を取った人は約480名であったが、2001年12月現在は55名ぐらしか残らず、約13,000名の韓

表1 韓国の鍼灸士制度変遷

年 度	法 令	内 容
1914	朝鮮総督府警務總監令第10号	按摩術、鍼術、灸術経営業取締規則
1946	米軍政庁 保健厚生部訓令	上記 類似医療業者規則の効力停止
1951	国民医療法第59条	類似医療業者 (鍼士、灸士、按摩士、および接骨士) 制度規定 韓医師制度設立
1960	保社部令第56号	類似医療業者の資格試験規定
1962	国家再建最高会議 (軍事革命)	国民医療法第59条廃止 鍼士、灸士および接骨士制度廃止

医師が鍼灸師の役割を代わりに果たしている(毎年、韓医学部の入学：約750名、卒業：約700名)。以上の韓国の鍼灸士制度変遷と人数を表1、表2にまとめた。

表2 医師などの数

西洋医師	約70,000名
韓 医 師	約13,000名
鍼 灸 士	約55名

(2002年8月現在)

## 2. 鍼灸学の教育課程

### (1) 大学の韓医学部の歴史

現在、韓国では最初に韓医学部ができた慶熙大学をはじめ、計11校に韓医学部があるが、その出発点は1948年設立の東洋大学館から始まる。それでは、今までの韓国の大学での韓医学部の歴史を表3に簡単にまとめた。

表3 韓国の韓医学部の歴史

年 度	内 容
1948年	東洋大学館という4年制の乙種大学が認可され、同年4月1日正式に開講
1953年3月	東洋大学館がソウル漢医科大学に変更・認可
1955年3月	ソウル漢医科大学に薬学科が新設され、東洋医薬大学に改称
1963年12月	政府法により6年制(予科：2年、本科：4年)の東洋医科大学に改称
1965年3月	東洋医科大学が慶熙大学医学部韓医学科に併合され、今日に至る

表4 韓国学教育カリキュラム

### (1) 韓医予科

学年	教科科目	単位	時間	学年	教科科目	単位	時間	
1年生	英語会話	2	2	2年生	実用外国語	2	3	
	実用漢字	2	2		医学漢文	2	2	
	Computer活用	2	2		経典講読	2	2	
	一般物理学	2	2		原典	2	4	
	一般生物学	2	2		解剖学実習	4	8	
	一般化学	2	2		生化学	2	2	
	一般化学実験	1	2		医学英語	2	2	
	韓医学概論	3	3		薬用植物分類学	3	3	
	経典講読	3	3		本草学総論	2	4	
	東洋哲学	2	2					
	発生学	2	2					
	食品摂生	2	2					
	気功学	2	2					
総計	計80単位							

表4 韓国学教育カリキュラム(つづき)

## (2) 韓医学科

学年	教科科目	単位	時間	学年	教科科目	単位	時間
1年生	原典、	2	4	2年生	傷寒論、	2	4
	本草学、	3	6		方剂学、	3	6
	本草学実習、	1	2		方剂学実習、	1	2
	医史学、	3	3		予防医学及び公衆保健学、	3	3
	西洋医学の生理学、	2	3		経穴学	2	3
	組織学、	2	2		経穴学実習	1	2
	経穴学、	2	3		西洋医学の病理学、	3	3
	経穴学実習、	1	2		韓方病理学、	3	6
	韓方生理学、	3	6		病理学実習、	1	2
薬理学	2	4	診断学、	2	4		
				鍼灸学	2	3	
3年生	肝系内科学、	1	2	4年生	肝系内科学実習、	1	2
	心系内科学、	1	2		心系内科学実習、	1	2
	脾系内科学、	1	2		脾系内科学実習、	1	2
	肺系内科学、	1	2		肺系内科学実習、	1	2
	腎系内科学、	1	2		腎系内科学実習、	1	2
	婦人科学、	2	4		婦人科学実習、	2	4
	鍼灸学、	1	2		鍼灸学実習、	1	2
	小児科学、	1	2		薬針学	1	2
	皮膚外科学、	1	2		小児科学実習、	1	2
	眼耳鼻咽喉科学、	1	2		皮膚科学実習、	1	2
	神経精神科学、	1	2		眼耳鼻咽喉科学実習、	1	2
	リハビリ科学、	1	2		神経精神科学実習、	1	2
	四象体質医学、	1	2		リハビリ学実習、	1	2
	推拿学	2	2		保健法規、	2	2
	臨床実習、	3	6		放射線科学	2	2
	医学統計	2	2		臨床病理学	2	2
新針療法学	1	2	四象体質医学実習、	1	2		
放射線科学	1	2	救急医学	2	2		
				病院経営管理学	2	2	
総計	計160単位						

表5 大学院の経穴学・鍼灸学の講義科目及び単位

	経穴学	鍼灸学
教科科目	俞穴原理論、経絡診断、 経絡実質研究、経穴解剖学、 経外奇穴、経絡原理論、 俞穴原理論、経絡診断、 経外奇穴、経絡原理論、 奇経八脈論、得気論、 経絡経穴文献集談会、 経穴の構造と機能、 経絡研究方法論	鍼術麻酔疼痛論、体質鍼灸論、 五行鍼、鍼灸手技補瀉論、 鍼灸運動関節論、奇経八脈鍼灸治療、 鍼術麻酔疼痛論、体質鍼灸論、 五行鍼、鍼灸手技補瀉論、 鍼灸運動関節論、奇経八脈鍼灸治療、 鍼灸内科論、鍼灸婦人小児論、 鍼灸皮膚外管論、新鍼療法、 獣医鍼灸学、経絡論、臨床経外奇穴、 灸法論、手技論、俞穴論、臨床集談会、 スポーツ鍼灸学、通電針療法、鍼灸補瀉論、 疼痛論、鍼灸婦人科、鍼術麻酔、鍼灸外科、 鍼灸内科、鍼灸小児科、鍼灸精神科
総計	計80単位	

このような過程を経て、現在、計11校の韓医学部は学部6年、修士2年、博士2～3年の課程で構成されている。大学学部及び大学院での韓医学の教育課程は次の通りである。

#### (2) 大学学部での韓医学(鍼灸学を含めて)教育カリキュラム

韓医学部のカリキュラムを表4に示す。

#### (3) 大学院の経穴学・鍼灸学の講義科目及び単位

大学院の経穴学分野と鍼灸学分野の教科内容を表5に示す。

#### (4) 韓方病院での研修医制度

1977年慶熙大学韓医学部付属病院にはじめて研修医制度が作られ、2002年8月現在全国に約149カ所の韓方専門病院で韓方研修医を養成している。専門分科は五行論に基づいた肝・心・脾・肺・腎の5カ所の内科をはじめ、鍼灸科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、神経精神科、小児科、リハビリテーション、四象体質科、婦人科などである。研修期間はインターンの1年、レジデントの3年になり、合わせて4年課程である。しかし、こ

のような研修課程は政府が正式に認めたものではなく、病院ごとに行われたものである。これが2002年3月にはじめて韓方専門医326名が韓国の保健福祉部(日本厚生省に当たる)大臣に認可された。最初免許証を取った人数は、韓方鍼灸科は67名、韓方内科は149名、韓方婦人科は25名、韓方耳鼻咽喉科は18名、韓方リハビリテーションは27名、四象体質医学科は13名、韓方小児科は9名、韓方神経精神科は18名である。

#### (5) 全国11校の韓医学部の現状

現在、韓医学部がある大学を表6に示す。

表6 全国11校の韓医学部の現状

学校名	設立年度	新入生 (2001年)	卒業生	住 所	ホームページ
慶熙大学	1953	120	5,160	ソウル市東大門区回基洞 1	<a href="http://www.kyunghee.ac.kr">http://www.kyunghee.ac.kr</a>
圓光大学	1973	100	2,320	全北益山市新溶洞344 - 2	<a href="http://www.wonkwang.ac.kr">http://www.wonkwang.ac.kr</a>
慶山大学	1981	120	1,800	慶北慶山市店村洞山75	<a href="http://www.ksucc.ac.kr">http://www.ksucc.ac.kr</a>
大田大学	1982	80	1,120	大田市東区龍雲洞96 - 3	<a href="http://www.dju.ac.kr">http://www.dju.ac.kr</a>
尚志大学	1988	60	480	江原道原州市牛山洞660	<a href="http://www.sangji.ac.kr">http://www.sangji.ac.kr</a>
東国大学	1979	80	1,360	慶北慶州市錫丈洞707	<a href="http://www/dohgguk.ac.kr">http://www/dohgguk.ac.kr</a>
又石大学	1988	30	240	全北完州郡參礼邑後頂里290	<a href="http://wshani.net">http://wshani.net</a>
東義大学	1988	50	400	釜山市鎮区楊停 4 洞山45 - 1	<a href="http://www.donggeui.ac.kr">http://www.donggeui.ac.kr</a>
暎園大学	1990	30	180	京畿道城南市水亭区伏亭洞山65	<a href="http://www.kyungwon.ac.kr">http://www.kyungwon.ac.kr</a>
世明大学	1992	40	160	忠北提川市新月洞山21 - 11	<a href="http://www.semyung.ac.kr">http://www.semyung.ac.kr</a>
東新大学	1992	40	160	全南羅州市大湖洞252	<a href="http://dongshinu.ac.kr">http://dongshinu.ac.kr</a>

表 6 からみると、毎年新入生は750名であり、卒業生は毎年約700名程度である。特に、ここ10年間、韓医学部のレベルは医学部、歯学部より高くなり、韓国での韓医学の人気ぶりがうかがえる。

なお、医学部は全国41校で新入生は3,253名、歯学部は11校で新入生は752名である。2003年から医学部では165名減り、歯学部では410名が減る予定である。

### 3. 鍼灸学関連学会及び現状

今日の「大韓韓医師協会」(The Association of Korean Oriental Medicine: AKOM)の前身である大韓漢医師会(Korean Oriental Medical Association: KOMA)は1952年12月10日に発足した。1959年に大韓漢医師会は「大韓漢医師協会」と名称が変わり、さらに1986年に「大韓韓医師協会」と変わった。英語名は1995年から現在のThe Association of Korean Oriental Medicine (AKOM)に変わった。活動は<http://www.akom.org/> からみることができる。韓医師は法律上、大韓韓医師協会の会員になる必要があり、現在の会員は約13,000人である。

学術団体としての大韓漢医学会(Korean

Oriental Medical Society: KOMS)は1963年に創立され、同時に大韓漢医学会誌(*The Journal of Korean Oriental Medicine*)が発行された。1963年の第1号から、2002年6月現在、第50号(Vol.23, No.2)まで刊行され、韓国語版が年4回、英語版は年1回発行されている。1986年の「漢医師」は「韓医師」と名称の変化に伴い「大韓漢医学会」も「大韓韓医学会」に変わった。大韓韓医学会は約3,000人の会員をもつ。その傘下団体には2002年8月現在15の正学会、13の準学会がある。このうち鍼灸学に関する学会は次の3つである。

(1)大韓鍼灸学会(Korean Acupuncture & Moxibustion Society (KAMS), <http://www.acumoxa.org>)

本学会は鍼灸学の発展を目指して大韓漢医学会の分科学会として1973年に創立された最も古い伝統を持ち、現在様々な活動を行う韓国の鍼灸学を代表する学会である。本学会は韓医学術の発展のため、鍼灸学の理論及び技術の研究調査事業、鍼灸学会誌と鍼灸学書籍の発行及び収集に関する事業、全国学術大会及びセミナーの開催などを行う。

大韓鍼灸学会から発行される大韓鍼灸学会誌

( *The Journal of Korean Acupuncture & Moxibustion Society*, **写真1** ) は現在年6回刊行され、1984年第1号をはじめ、2002年8月現在第52号 ( Vol.19、No.4 ) まで発刊された。2001年からの韓方鍼灸専門医制導入後、会員数は倍増し約700人となっている。



写真1 大韓鍼灸学会誌

(2) **大韓薬鍼学会** ( Korean Institute of Herbal Acupuncture : KIHA, <http://www.kiha.co.kr> )

大韓薬鍼学会は薬鍼 ( 水鍼 : Herbal Acupuncture, aqua-acupuncture ) 学を学術的に発展させ、新しい薬鍼製剤の開発と研究をする韓医師らが作った学術団体である。1991年設立された大韓薬鍼学会には薬鍼研究所、学会事務局 ( 中央理事会 ) 及び地方に支部がある。薬鍼研究所は薬鍼製剤の調剤工程、保管、管理及び使用方法を制定するために設立され、薬鍼液の開発、安全性確保及び会員の研究の場として活用されている。安全な薬鍼製剤の製剤法の研究と多様な薬鍼液の開発のため、学会の研究室を開設し、現在KGMP ( Korean Good Manufacturing Practice ) 施設に準じる無菌室を揃え、多くの会員が研究に努めている。大韓薬鍼学会から発行される大韓薬鍼学会誌 ( *Journal of Korean Institute of Herbal Acupuncture*, **写真2** ) は年2回発行され、1997年第1号をはじめ、2002年6月現在第7号 ( Vol.5、No.1 ) まで刊行された。現会員は532名である。



写真2 大韓薬鍼学会誌

(3) **大韓経絡経穴学会** ( The Korean Society of Meridian & Acupoint : KSMA, (<http://www.pointology.org>)

大韓経絡経穴学会は1996年に経絡と経穴を主な研究対象とする学会として発足された。本学会はWHOで経絡経穴学が公認されてからグローバル化を求めて研究を進めている学会である。本学会から発行される大韓経絡経穴学会誌 ( *The*

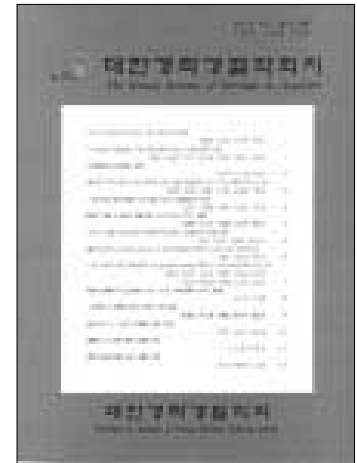


写真3 大韓経絡経穴学会

*Journal of Korean Meridian & Pointology Society*, **写真3** ) は現在年2回発行され、2000年第1号をはじめ、2002年6月現在第5号 ( Vol.3、No.1 ) まで刊行された。現会員は150名である。

#### 4. 鍼灸研究の動向 及び現状

鍼灸学に関する研究論文が本格的に発表されたのは日本より10年余り遅れ、1963年に鞠明雄が経穴に純金糸を注入する鍼法を研究し、「純金注入鍼法の理論と実際」を発表してからである。特に、同年には北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の金鳳漢らの「経絡系統に関して」という論文が発表され、「鳳漢小体説」が国際的にも話題となった。

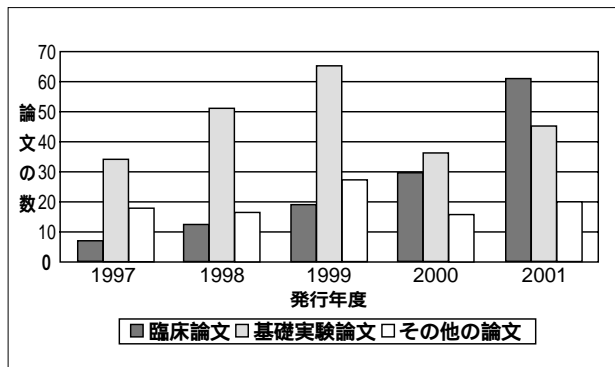
1965年権度沅は四象体質医学に基づいた体質鍼法を研究して「体質鍼に関する研究」を発表し、四象体質医学による鍼法を独自に開発して、韓国の独特な鍼法の一つとして完成させた。1967年南相千は経穴に精製された韓薬煎液を注入する「水鍼法」を研究して「経絡」誌に発表した。これは当時としては異色な研究であった。しかし、この方法は基礎研究が十分ではなかったにもかかわらず、優れた臨床効果を挙げ、その後幅広く普及され、大韓薬鍼学会の創立の原動力にもなった。

1980年代に入ってから各大学で薬鍼に関する基礎研究が始められたが、今日に至っても安全性の問題は抱えている。

現在、韓国で行われている鍼灸学の鍼灸術を総合的にまとめると、五行鍼、良導絡、金糸埋粒鍼、体質鍼、舎岩鍼、太極鍼、耳鍼、鍼麻醉術、薬針、高麗手指針などがある。

1997年から2001年のここ5年余りの大韓鍼灸学会誌に掲載された論文を臨床論文、基礎実験論文、その他の論文に分けてみると図1のようになる。臨床論文のうち、ランダム比較試験 (randomized controlled trial: RCT) は計5編である。現在このデザインに関心が高まりつつある傾向が見られる。その他の国内外雑誌で紹介された論文は省略する。

図1 大韓鍼灸学会誌の論文の内容 (1997~2001)



### 5. 韓医学のグローバル化と韓・日鍼灸学の交流史

1950年以後、韓国と日本の鍼灸交流の歴史は学術雑誌から始まったと考えられる。1955年6月30日に東洋医学誌の創刊号が韓国の東洋医学社から発行され、この雑誌に日本東洋医学の臨床のことが紹介された。この雑誌は現在も発行されており、日本と韓国鍼灸交流に重要な役割を果たしている。

1955年、韓国の外科医師安台錫が「麻酔的睡眠に効果がある完骨穴に関して」という研究論文を發表し、鍼麻醉の可能性を示した。これが世界医学界に紹介された鍼灸麻酔に関する最初の論文であると見なされる。その後、1972年、韓医師柳根哲は虫垂炎患者の手術に鍼術麻酔を導入した。彼は第3回世界鍼灸学術大会で「鍼麻酔の理論と実技に関する研究」を發表した。

1973年9月25日には韓国・ソウルで初めて第3回世界鍼灸学術大会 (Third World Congress of Acupuncture) が開催された。1974年9月22日か

ら23日にかけて、日本の東京文化会館で経絡経穴国際協定委員会 (The Interational Committee on Acupunture Meridians and Points) が開かれた。この会には5カ国からの参加があり、また、これは日本と韓国の鍼灸学に携わる人々の最初の公式的な交流ともなった。この会議では韓国側の経絡経穴表記案も考慮された。

1975年2月17日から21日までアメリカのネバダ州ラスベガスで、第4回世界鍼灸学術大会 (Fourth World Congress of Acupuncture) が開催され、日本と韓国両国の盛んな学術交流が行われた。1987年6月25日にはWHO鍼灸用語標準化のためのソウル会議 (Third Working Group on the Standardization of Acupuncture Nomenclature) が開かれた。

韓国と日本の鍼灸学術交流は特に、国際東洋医学会 (International Society of Oriental Medicine : ISOM) を通じて他の国では見られない親密な関係を結んでいると言える。この学会は韓国と日本の学者が中心となり1975年アメリカのラスベガスでの第4回世界鍼灸学術大会の期間中に発足された。翌年1976年にソウルで国内外学者約700名が集まって、第1回国際東洋医学学術大会 (First International Congress of Oriental Medicine : ICOM) を開催してから両国の東洋医学に対する理解と関心はさらに高まってきた。韓国は第1回 (1976年)、第2回 (1980年)、第5回 (1988年)、第8回 (1995年)、第11回 (2001年) の学術大会を、日本は第4回 (1985年、京都)、第6回 (1990年、東京)、第10回 (1999年、東京) の学術大会を開催した。両国の学者はこれらの大会を通じて議論の場を持つようになった。

一方、鍼灸専門分野では世界鍼灸学会連合 (World Federation of Acupunture Moxibustion Societies: WFAS) を通じた両国の交流もある。この連合は1987年に北京で設立され、東洋医学の中でも、より鍼灸を専門にする非政府系の鍼灸学協会の国際的な連合組織である。大韓韓医師協会はWFASの準備段階から関与し、1987年WFAS設立以来の正会員である。



その後韓国の大韓鍼灸士協会 ( Korea Acupuncture Association: KAA ) は、1993年11月に日本の京都で開かれた第3回WFAS世界鍼灸学術大会 ( Third World Conference on Acupuncture: WCA ' 93 ) で正会員として加入し、1994年11月12日から14日にかけてソウルでシンポジウム ( WFAS ' 94 Seoul International Acupuncture-Moxibustion Symposium ) を開催した。

1997年北京で開かれたWFAS世界鍼灸学術大会創立10周年記念学術大会でのWFAS執行委員会 ( Executive Committee ) の執行委員 ( Executive Member ) 選挙で、韓国の大韓韓医師協会と北朝鮮の朝鮮鍼灸科学協会が脱落し、大韓鍼灸士協会が執行委員として新たに選ばれた。その時から、自然に韓国の大韓韓医師協会と大韓韓医学会はWFASから離れていき、1998年スペイン・バルセロナでのシンポジウム、1999年ベトナム・ハノイでのシンポジウムには参加しなかった。また、大韓鍼灸士協会が中心となって、2000年11月12日から15日にかけてソウルで開催された第5回WFAS世界鍼灸学術大会 ( The Fifth World Conference of Acupuncture ) でも組織委員会から除かれるつらい経験を味わうことになる。

これから、大韓韓医学会は過去の苦い思いをばねにして、全世界に向かってより積極的な役割や義務を果たさなければならないだろう。

## おわりに

以上、韓国の鍼灸士制度、教育課程、鍼灸学関連学会の現状、鍼灸研究及び国際交流について概説した。現在、韓国は国内外で様々な問題を抱えていることも事実である。国内では大韓鍼灸士協会の鍼灸士制度の復活の動き、大韓医師協会では韓医師制度を廃止し医師中心の医療制度の一本化を計画するなど多くの問題がある。一方、国際的には中国をはじめ、日本、ベトナム、モンゴル、中央アジアなどと盛んに交流を行っているが、学問的にはまだ国際レベルにまで達していない。また、制度の面でも韓国における韓医師は医師と平等な立場で役割を果たし、鍼灸士としての役割も

ともに果たさなければならない独特の状況に置かれている。

今後は韓国の特殊な教育課程、制度及び構造に対する深い理解が得られることを望んでいる。

## 謝 辞

本論文を執筆するにあたり、全日本鍼灸学会国際部長の津谷喜一郎先生のご推薦と多大なご助言をいただきました。厚く御礼申し上げます。

## 「付記」

この論文は日本に韓国鍼灸学の現状を紹介する最初の論文であり、内容の重要性と客観性を考慮するため、大韓韓医学会長と鍼灸学会長で共同執筆を行ったものである。

## 文 献

1. 韓国韓医学史再定立 下.ソウル:韓国韓医学研究所.1995;224,226,265.
2. 金斗鍾. 韓国医学史.ソウル:探求堂.1990;542.
3. 愼重完. 日帝侵略以後 부터 1960年代初 까지의 韓方医療制度變遷史 에 관한 考察 (日帝侵略以後から1960年代初までの韓方医療制度變遷史に関する考察) 大韓原典医史学会誌.1988; 1 : 44-5. (in Korean)
4. 愼重完. 日帝侵略 에 의한 韓方医療制度廢絶 에 관한 研究 (日帝侵略による韓方医療制度廢絶に関する研究) 慶熙大学大学院修士学位論文.1990;45. (in Korean)
5. 慶熙大学韓医学部及び大学院カリキュラム.2002.